

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業

【産業振興分野】

旬のものや安全で安心なものを消費者にお届けしながら、生産者と消費者の橋渡しをするのが私たちの役目です。生産、加工、流通、販売まで幅広く関わることで、それぞれが活性化できる仕組みを作っていきます。



いわて新鮮組株式会社 営業企画部長 加藤久雄さん

事業概要

安全・安心で高品質な県産の農林水産物を活かして、単なる素材生産から、より付加価値の高い加工品の生産や、ネット販売による新たな流通販売など、農林水産物の6次産業化を支援することを通じて農林水産経営の高度化を図る。

委託先

いわて新鮮組株式会社(本社:岩手県盛岡市)をはじめとする19事業者

新たな雇用創出数

合計 50人

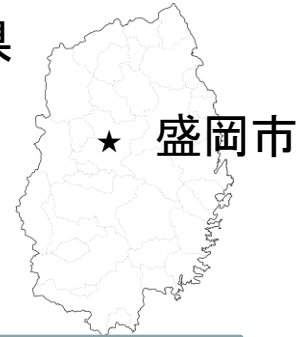
事業費

約11,000万円(平成21年度)
※19事業者全体

事業の開始

平成21年4月～

岩手県



★ 盛岡市

地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

岩手県	0.34倍(季節調整値)
盛岡管内	0.39倍(原数値)

業務内容

【いわて新鮮組】

- ・広域的に県内の農林水産物や加工品を販売する「街なか産直」事業
- ・岩手のこだわり食材を中・外食企業などに提案する直接販売事業

事業の公募

岩手県は、①付加価値の高い「新たな加工品の生産・販売」、②ネット販売やケータリングサービス等の「新たな流通販売」、③農産物・木材等の「新たな地産地消」といった生産・加工・販売・流通に関するビジネスモデルを示した上で事業企画を公募。雇用創出効果の観点から、19事業者を選定、事業内容に応じそれぞれ委託契約を結び事業を展開している。



《「新鮮な果物・野菜はいかがでしょう！」》

スタッフのみなさん

消費者、生産者、加工業者みんなが幸せになるビジネスを展開していきたい。



食材を通してみなさんの交流の場になれば嬉しい。

地産地消にこだわっています。

スタッフ 加藤千恵子さん、鈴木友子さん

お客さまからの声

この店舗1か所で、県内各地の農産物や加工品を購入できるので、好評を得ています。

「食のアウトレット」のコーナーで規格外の商品を安く買えるのが魅力。

街の便利な場所にあるので気軽に立ち寄れる。商品が豊富。

今後の姿と課題

今回の「街なか産直」事業のほか、委託した個々の事業を実施していく中で、県内各地域の活性化が図られるよう、地域と一体となった支援体制づくりが必要。



今回の事業で、新たな産業振興の希望が見えています。県としても全面バックアップをしていきます。なお、岩手の食材に関する情報はコチラをご覧ください。→「いわて食材倶楽部」
<http://www.iwate-syokuzaiclub.com/index.html>

岩手県流通課企画マーケティング担当 佐藤栄幸



《「県内各地から採れたてのものが届きます！」》



《「豊富な品揃え。こだわり食材も並んでいます！」》



《お客様が立ち寄りやすいよう屋外に設置した店舗》

伝統こけし工人後継者育成事業 【宮城県:蔵王町】

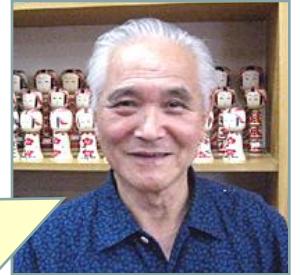
事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業

【産業振興分野】

遠刈田系のこけし工人は1950年代は100人ほどいましたが、今では28人にまで減っています。このうち遠刈田温泉地区には18人が活動していますが、平均年齢が71歳と高齢化が進んでおり、後継者育成が急務の課題となっています。

本事業が、伝統技術の継承と地域雇用の創出に繋がることと大いに期待しています。



遠刈田伝統こけし木地玩具業協同組合
理事長 佐藤哲郎さん

事業概要

現役ベテラン工人のこけしなどの製作補助作業を通して、技術を伝授し、遠刈田伝統こけし産業の継承を図る。

委託先

遠刈田伝統こけし木地玩具業協同組合
(みやぎ蔵王こけし館内)

新たな
雇用創出数

3人

事業費

940万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年6月～

宮城県



地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

宮城県 0.38倍(季節調整値)

白石管内 0.18倍(原数値)

業務内容

遠刈田伝統こけし及び木地玩具の製作補助

「みやぎ蔵王こけし館(蔵王町伝統産業会館)」の来館者に、こけし製作実演及び体験教室の指導など

組合員7人が交代で新規こけし工人の指導育成に当たる



《年間約3万人が訪れる「みやぎ蔵王こけし館」》

新規工人のみなさん

伝統こけしは、原木の段階から、顔・胴の描彩、仕上げまでの全工程を一人のこけし工人が行います。すべて自分の思うとおりに作ることが出来るのですが、それゆえに作り手の生活や気持ち体調などが作品に反映され作風も変化します。そこが面白くも難しいところです。

指導を受けた技術の一つ一つを、身に付けていきたいです。



新規こけし工人
日下秀行さん

道具も自ら作ります。大変やりがいを感じています。



新規こけし工人
達曾部早苗さん

厳しい職人の世界ですが、丁寧に指導いただいています。



新規こけし工人
熊谷祐太さん

指導者からの声

こけし工人の高齢化が進んでいることから、「伝統に培われた技術が後世に伝えられる」と期待されます。

「一人前になりたい」という3人の強い意気込みが伝わってきます。

後継者として安心して指導できます。

今後の姿と課題

3年後に、こけし工人として独り立ちさせることが目標です。短期間に効果的な指導をすることが重要であることから、日々工夫して指導育成に取り組んでいます。



伝統技術と、若い世代の活気と感覚が融合して、新しい伝統が生まれていくのです。

遠刈田系こけし



《刃物を使用するため、真剣勝負です》